

令和5年度
学校づくりアンケート

回答結果の集約及び分析

- ◎実施期間 : 令和5年9月4日～8日
- ◎調査対象 : 市内中学校 第3学年生徒
(N=441 n=395 (89.5%))
- ◎調査方法 : 10の設問に対して、その必要性・重要性の
感じ方を4段階で回答
- ◎結果算出方法 :
肯定的選択肢から順に4点・3点・2点・1点を配点し、
回答者数に乘じ、総得点を算出。
実施人数(n)で割ることによって出る「平均値」を指標
として用いる。
< 「平均値 2.5」を「±0」の状態として、各設問に対する生徒のニーズを把握 >

2 回答結果集約【設問1～10・選択式 / 設問11・自由記述】

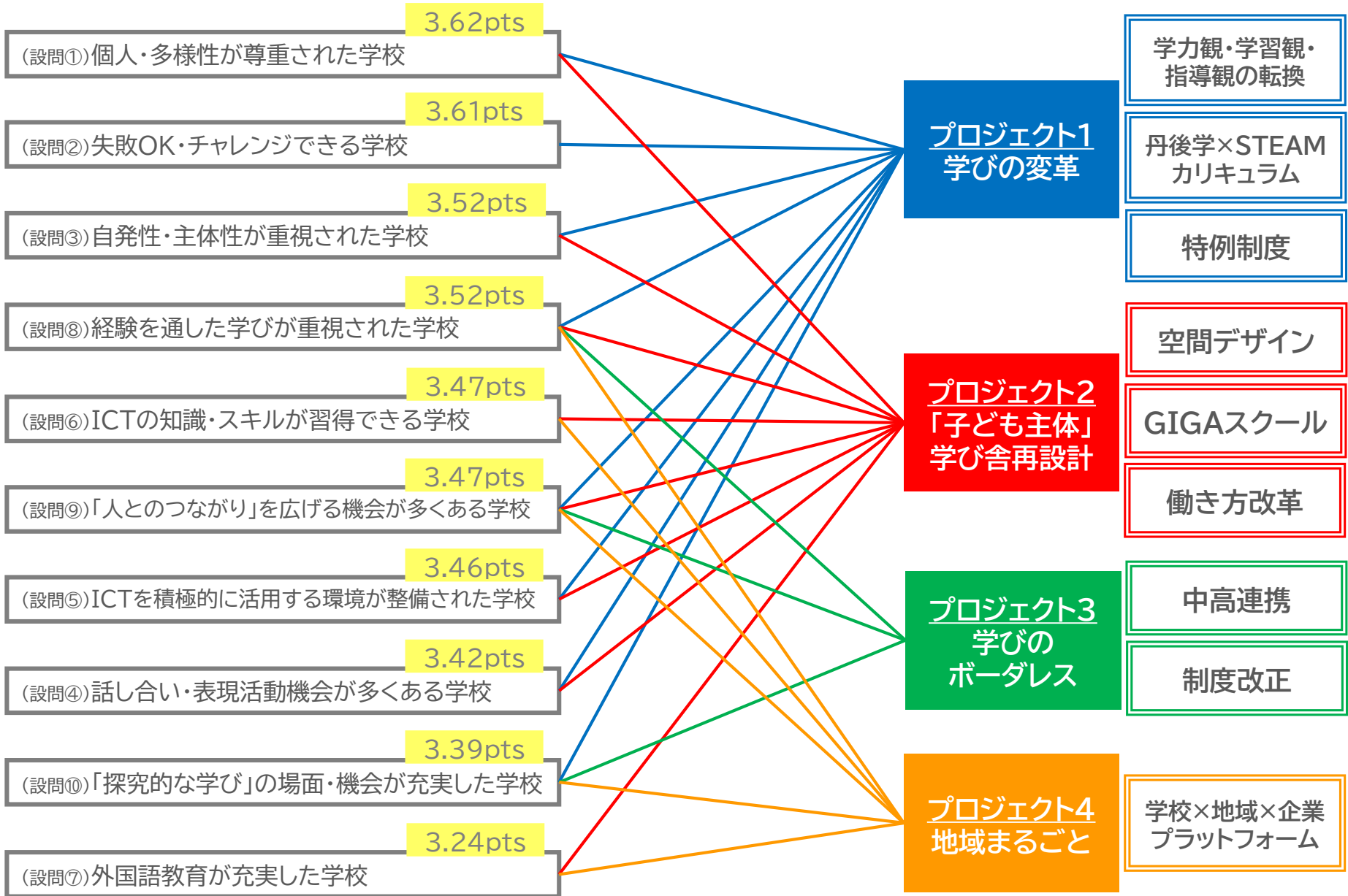
		設問1/個人・多様性尊重				設問2/失敗OK・チャレンジ				設問3/自発性・主体性重視				設問4/話し合い・表現活動中心				設問5/ICT活用			
生徒数(N)	実施人数(n)	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ
441	395	273	100	16	6	264	112	16	3	233	140	18	4	221	128	37	9	222	140	27	6
総得点(点)		1430				1427				1392				1351				1368			
平均値(点)		3.62				3.61				3.52				3.42				3.46			

		設問6/ICTの知識・スキル習得				設問7/外国語教育充実				設問8/経験重視				設問9/人とのつながり重視				設問10/「探究的な学び」充実			
生徒数(N)	実施人数(n)	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ	★4つ	★3つ	★2つ	★1つ
441	395	228	129	34	4	177	153	49	16	237	128	27	3	233	119	37	6	204	151	30	10
総得点(点)		1371				1281				1389				1369				1339			
平均値(点)		3.47				3.24				3.52				3.47				3.39			

設問1 こんな学校がいいな。 ーハルな学校ー	<p>【個の尊重・人権・よりよい関係性】 全員が主役で誰とでも仲の良い学校 / 一人ひとりを大切にできる学校 / 誰も置き去りにしないで全力で進み合える学校 / 「好き」を全力で追い求めることができ、誰かの努力を褒め合える学校 / 生徒や人、一人の考えが尊重される学校 / 自分の意見を自由に伝えて、クラスの人が一人一人の意思を受け止め、尊重し合えるような学校 / 部活に入る・入らないの自由が尊重されている学校 / みんなが平等に生活できる学校 / 個性豊かな学校 / 一人一人の意見が尊重される学校 / 互いの意見を分かち合える学校 / 個人の努力が評価に反映される学校 / 学年男女問わず仲の良い学校 / 多くの人が活躍できる学校 / みんなが気をつかわなくてよい学校。まずはクラスから！ / 否定しない学校 / 差別がなく、学年関係なく仲が良い学校 / 暴言がない学校 / いじめ・不登校のない学校 / いじめや差別がない学校 / 「さん」と「君」</p>
	<p>【安心感・楽しさ・自己解放】 来るのが楽しみになる学校 / 楽しい学校【3】 / 楽しい学校(不安になることが多い) / みんなが学校に行くのが楽しいと思える / 誰もが行きやすい学校 / 明るい学校 / 自由な学校 / 安心・安全に過ごせる学校</p>
	<p>【多様な他者との協働・交流】 困り事とかをしっかりと解決し合える学校 / 意見とかをしっかりと言い合える学校 / 今ある授業だけでなく、他学年と共同でする取り組み / 自分の学級とだけ交流するのではなく、他の学級や学年との議論などの場がほしい / もっと他の学校との交流をしたい / 意見交流が、学年ごとやクラスごとに多く行われる学校 / もっと意見が出しやすい授業や交流がある授業 / 他のクラスとの関わりを増やしてほしい / どんなことでも真剣に取り組めるクラス / 友達と関わるために中間休みがある学校 / 勉強に集中できる学校</p>
	<p>【ルール・規範意識】 ルールなどが守れる / 古い考えの校則がなくなり、現代にあった校則の中で生活できる学校 / スマホを持ってきてもよい / 携帯などを持ち込めたらいいな / 常識の範囲内で自由に過ごせる / もっと自由に / 私服とか体操服で登下校できる</p>
	<p>【学習内容・方法】 海外みたいに、教科が選べる学校がいい。音楽とか絶対使わないし、それなら教科を選んで授業に行きたい / 進路などに向けて、取り組める環境などをつくる。得意・不得意があっても、積極的に取り組めるようにする。 / 定期テストじゃない日は、わいわいした授業がいいと思う / オンライン授業があるといい / 自主学習の時間(がある) / 調べたい物を調べてもよい / 自主勉強ノートは週2回提出 / 将来について考えを深められる機会が多い学校 / スポーツに積極的に取り組める学校 / 先生達がICTに強い</p>
	<p>【施設・設備】 先進的なテクノロジーが体験できる学校 / (少しずつでいい)自動化もしくは機械をさらに導入した学校 / 最新化した学校 / トイレがきれい【5】 / トイレがめっちゃきれいな学校 / トイレにスリッパを置いて欲しい。トイレが和式！ / 部活動の道具や活動場所を新しくしてほしい(例:スターティングブロック・ジャバラリッポール・砂場・メーシンボール・砲丸) / 自習室がある学校 / 学校の中に自動販売機・売店・体育館</p>
	<p>【その他】 部活が作れる学校 / イノベーション / 1～10がしっかりと実現してほしい</p>

3 結果分析(1)

～「検討会」で構想するプロジェクトと各設問の関連性～



3 結果分析(2)

～中3生徒の二一ズ順位・設問別回答割合・自由記述(抜粋)～

平均値	学校(教育活動)イメージ	各設問 回答割合 (n=395)				各設問に関連する自由記述 (設問① 抜粋)
		★4 (全肯定)	★3 (肯定)	★2 (否定)	★1 (全否定)	
3.62	(設問①/姿勢・方針・環境) 個人・多様性が尊重された学校	69%	25%	4%	2%	全員が主役・多くの人が活躍 / 一人ひとりを大切に・みんなが平等 / 一人の考え・意思が尊重される / 個性豊か / 常識の範囲内で自由に過ごせる
3.61	(設問②/姿勢・方針) 失敗OK・チャレンジできる学校	67%	28%	4%	1%	誰も置き去りにしないで全力で進み合える / 得意・不得意があっても、積極的に取り組める
3.52	(設問③/姿勢・方針・環境) 自発性・主体性が重視された学校	59%	35%	5%	1%	誰かの努力を褒め合える / 個人の努力が評価に反映される / 教科が選べる / 自主学習の時間・自習室がある / 部活がつくれる / スポーツに積極的に取り組める
	(設問⑧/姿勢・方針) 経験を通した学びが重視された学校	60%	32%	7%	1%	
3.47	(設問⑥/内容) ICTの知識・スキルが習得できる学校	58%	33%	9%	1%	先進的なテクノロジーが体験できる
	(設問⑨/方法・環境) 「人とのつながり」を広げる機会が多くある学校	59%	30%	9%	2%	誰とでも仲良し / 他学年と共同での取組み / 他学級・他の学校との関わり・交流を増やして / 困り事とかをしっかりと解決し合える / 友達と関わる時間の確保(中間休み)
3.46	(設問⑤/方法・環境) ICTを積極的に活用する環境が整備された学校	56%	35%	7%	2%	オンライン授業があるといい / 先生達がICTに強い
3.42	(設問④/方法) 話し合い・表現活動機会が多くある学校	56%	32%	9%	2%	意見をしっかりと・自由に言い合える / 意見が出しやすい授業や交流がある授業 / 他学級や他学年との議論などの場がほしい
3.39	(設問⑩/方法) 「探究的な学び」の場面・機会が充実した学校	52%	38%	8%	3%	「好き」を全力で追い求めることができる / 調べたい物を調べてもよい / 将来について考えを深められる機会を多く
3.24	(設問⑦/内容・環境) 外国語教育が充実した学校	45%	39%	12%	4%	

※4段階評価(1～4点)のため、「平均値 2.5」が「±0」の評価

★その他、特徴的な記述内容

【心理的安全性・人権】 楽しい学校 / 誰もが行きやすい / 安心・安全に過ごせる / いじめ・暴言・差別・不登校のない学校

【学校施設】 自動化もしくは機械をさらに導入した学校 / 最新化した学校 / トイレがきれい

4 最終取りまとめへの反映に向けた方向性

◎ 回答結果集約より ◎

今回のアンケートは4段階評価(1~4点)を採用したため、「平均値 2.5」が「肯定・否定」の「±0」の状態となる。それを踏まえると、今回ニーズを問うた10の学校イメージは、0.74~1.12ポイント肯定的な平均値を示している。また、各学校イメージに対する「★4つ(強い肯定)」も、約50~70%という非常に高い割合で選択されている。

高校生のニーズの聞き取りをもとに作成された質問項目のすべてに中3生も肯定的回答を選択したことから、「子どもたちが求める」学校の姿として、今回質問項目とした10の学校イメージを採用することができる。



◎ 結果分析(1)より ◎

また、すべての学校イメージに対して子どもたちが肯定的であったことから、これら10の学校イメージと関連付く4つのプロジェクトについても子どもたちの思いや願いに沿ったものであるととらえることができる。

これらの教育構想を、現在の社会情勢や教育動向を踏まえつつ、「子どもたちの思いや願い」を取り入れたものとするためには、今後、1つ1つの内容や方法の具体化・取捨選択の過程でも、「子どもたち」が判断根拠や評価指標の1つとして常にきちんと位置付けられる必要があることに留意すべきである。



◎ 結果分析(2)より ◎

仮に、今回のアンケートの質問項目を以下のように分類した上で、生徒ニーズの順位を見ると、生徒のニーズとして高いのは、学校あるいは教員の「姿勢・方針」に関わる項目である。

- A : 学校運営・教育活動実施上の姿勢・方針…①②③⑧
- B : 教育活動の実施方法…④⑤⑨⑩
- C : 教育内容…⑥⑦
- D : 環境整備…①③⑤⑦⑨



また、その傾向は、設問⑩に自由記述された内容にも現れている。(心理的安全性の確保・人権尊重)

今回、学校運営・教育活動実施上の姿勢・方針に対する子どもたちのニーズが上位に並んだことは、今後の教育のあり方の構想過程のみならず、現在進行中の各校園所の教育・保育実践を見つめる際にも重く受け止めるべきことである。

子どもたちが学校や教職員に対してまず求めているものは、過度あるいは理不尽な不安や緊張、恐れ、負担を強いられない環境と、「もっと私たちを見て。私たちを信用して。私たちにトライをさせて。」という思いであると推測できる。

前者は公立の学校園所の義務として在籍する子どもたちに保障すべき環境であること、後者は国・府のみならず、世界的にも示されている「これからの教育のあり方」と同一方向のものであることを考えると、今後、いかなる教育のあり方が構想・実施されるとしても、すべての学校園所で、これらの思い・願いが「学校・教育活動の土台」として明確に位置付けられ、その実現・質の向上が図られ続けることは必須であると言える。

【参考】アンケート設定項目（Formsで実施）

<R5・7・13実施の峰高生とのワークショップの回答をもとに作成>

☆京丹後市教育委員会では、市としてつくっていききたい「理想とするこれから学校」のイメージをまとめ、その実現に向けた今後10年間の計画を立てていく作業を進めています。
今回、そのイメージや計画には、大人の願いだけでなく、ぜひ生徒の皆さんの声も反映させていきたいと考え、アンケートを実施することとしました。毎日学校に通い、学習や様々な活動に取り組んでいる皆さんがどのような思い・願いをもっているのかを教えてもらえるとうれしいです。よろしくお願ひします。

※「1」から「10」では、それぞれに書かれた学校を、どのくらい「いいな。そうなってほしいな。」と思うか、あなたの考えを教えてください。
★4つ … とてもよい・ぜひそうなってほしい ★3つ … よい・そうなるとよい
★2つ … あまり必要(重要)だとは思わない ★1つ … まったく必要(重要)なことではない

1 個人が大切にされ、多様性が認められた学校

【例えば】この学校では、個人の考えや発言が大切にされ、よりよい学び・活動の実現を目指し、違う考えであっても気兼ねなく出し合われます。また、ジェンダーの問題についても、トイレや更衣室などの環境整備はもちろん、学校全体でジェンダー平等の実現が重視されます。

2 失敗を恐れず、チャレンジできる環境が整えられた学校

【例えば】この学校では、結果よりも過程が大切にされ、自分(たち)の考え・判断にもとづいたチャレンジは、たとえ結果が思うようなものでなかったとしても、課題解決・目的達成の一過程ととらえられ、評価されます。

3 自発的・主体的に学ぶ環境が整備された学校

【例えば】この学校では、図書室や自習室など、それぞれが自分なりの学習に取り組める環境が整備されています。また、子どもが自らの活動の場や目的・内容を選択できる時間も、1日(1週間)の中に定期的に設定されています。

4 子ども同士が「話し合う活動」「発表・交流し合う活動」がたくさんある学校

【例えば】この学校では、先生たちが一方的に話す時間・説明する時間よりも、自分たちが話し合う時間・考え合う時間・教え合う時間の方が授業の中心になります。

5 学習の中でICTを積極的に活用する学校。また、そのための環境が整えられた学校

【例えば】この学校では、授業の様々な場面でICTが使われます。また、Wi-Fi環境や導入アプリ、充電機器が充実していることはもちろん、大型モニターなど、大人数で情報を共有・発信し合うための機器も整えられています。

【参考】 アンケート設定項目 (Formsで実施)

<R5・7・13実施の峰高生とのワークショップの回答をもとに作成>

6 情報化社会で使える知識・スキルを身に付けることができる学校

【例えば】 この学校では、授業中の積極的なICTの活用だけでなく、その効果的な活用を考え、実践していくために必要な理論や用語、技術について学ぶ時間もあります。

7 英語等の外国語教育が充実した学校

【例えば】 この学校では、将来、様々な場で「使える」英語(外国語)の習得を目指して、実践的な授業や「学び方」を学べる授業が行われます。また、一人ひとりの学習状況や将来的なニーズに合わせた学びができるよう、ICTのアプリやAET・複数での指導体制も充実しています。

8 経験を通して学ぶことが大切にされた学校

【例えば】 この学校では、授業に「実際に見る・出会う・聞く・やってみる」活動が数多く取り入れられています。また、先生たちのサポートを受けながら、学校行事や取組みの計画(目的・内容・方法など)や運営を自分たちで進める機会もあります。

9 「人とのつながり」を広げる機会が多くある学校

【例えば】 この学校では、年間の学習や取組みの中に、学年・学級の枠を解体した様々な集団で活動する機会があります。また、「探究的な学び」をはじめ、日常の授業に協力してくださる外部人材も確保され、必要に応じて、自分(たち)の学びをサポートしていただいたり、アドバイスをもらったりすることができます。

10 「探究的な学び」を思いきりがんばることができる学校

【例えば】 この学校では、自分(たち)でテーマや学び方を考え、知りたいことや考えたいこと、やってみたいことに全力で取り組むことができます。

11 「1～10」に挙げたような学校のほかに、「こんな学校がいいな。こうなるといいな。」と思うイメージやアイデアがあれば、自由に書いてください。【記述式】